

親子で森林にまなび

木とふれあいました

四国森林管理局とオイスカ高知県推進協議会は、子どもたちの夏休みの研究・学習の支援と身近な自然環境への関心や理解を深めることを目的として、八月二十四日(金)に「夏休み親子ふれあい木工教室」を局大会議室で開催しました。

今回は、一九組の親子(四五名)が参加されました。指導普及課 橋口課長補佐より、「森林のはたらきについて」説明した後、小枝と木片を使った壁掛けの製作に取組みました。

その後、オイスカ海外研修生による積木教室では、様々な形の木片を利用して、家や橋、スカイツリーなどに挑戦し、親子で木の持つ優しさにもふれあいました。



森林の働きを説明



親子で壁掛けづくり

24 技術開発の紹介

安芸森林管理署
森林ふれあい係長
吉田 純一 さん

出番です

吉田さんの出身は新潟県。22年4月に入庁(四万十署)。23年4月に四万十署から異動、ふれあい係長として2年目に入りました。7月に、芸西村で幼稚園、小学生を対象にした森林教室を実施。当日、吉田さんは「森林のはたらき」などの説明後、本立て・鉛筆立ての木工教室も。改めて「人に伝える立場の難しさを実感」。さて、吉田さんの余暇は昨年からはじめたサーフィン。休日は、西は黒潮町から東は室戸市まで波乗りに。少しはにかんだ横顔に、業務にとけ込んだ顔とサーファーとしての屈託のない笑顔がありました。今後とも業務を問わず多くの波を乗り超える青年に期待大。

かかり木処理器具の改良及び伐採方法

目的 かかり木処理器具(フェリングレバー等)の改良(軽量化等)と、かかり木が発生しにくい伐採方法を検討し、安全性の向上を図る。

試験地 嶺北署(奥南川山二五七た林小班)

試験内容 フェリングレバー等の軽量化、かかり木が発生しにくい伐採方法(列状間伐)の検討、新たなかかり木処理器具の取扱マニュアルの作成。

開発期間 平成三三年度〜平成二四年度
詳細は、局HP 森林管理局の概要

森林技術センターを参照。

(写真はフェリングレバー)



編集後記

暦は9月に。蒸し暑い日が続きますが、体調にはくれぐれもご留意を。